



ベナンの歴史=和解の歴史



奴隸貿易時代
約300年

植民地時代 66年
1960年フランスから独立

1975年 社会主義体制へ

1990年 国民会議・和解
民主主義国家の出発

1999年和解と発展・国際会議
奴隸問題の歴史的和解

新しい時代の始まり



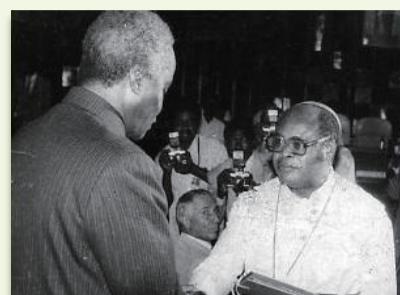
ケレク大統領

政府代表

1990年 国民会議

10日間の対話による民主化に成功

和解の成立!



ドゥスーザ大司教
全宗教者の代表
全国民の代表
精神性を象徴



ソグロ大統領



ケレク大統領



ヤイ大統領とローマ教皇

●1994年 UNESCO「奴隸の道」プロジェクト、ベナンで開始
奴隸貿易の真実を明らかにする
ベナン奴隸海岸に「Gate of NO Return」建設

●1996年 ケレク大統領再選

●1999年 ケレク大統領、奴隸貿易問題に対しアメリカ黒人へ謝罪

和解と発展のための国際会議 奴隸問題に関係した国々が
新しい出発

●2011年 ベネディクト16世教皇ベナン訪問

全アフリカに対して「和解・正義・平和」のメッセージ強調

●2012年 ボニ・ヤイ大統領アフリカ連合議長に選出



国民会議における国民の和解

1. 政策選択の間違い=事実認識

- ・国家体制の崩壊
- ・経済破綻
- ・国家の混乱

2. 問題を自分自身のものとして真摯に客観的に認識

- ・一人の心の葛藤の克服
- ・国家元首自身が間違いを認める
- ・正しい方向に向かう意志に従う

3. 愛国心

間違いを謝罪し、許しを請う

真理的要素

- ベナン人の伝統文化
- 精神性を重んじる
- 許しと寛容
- 長老を中心とした社会の構成
- ・元大統領たちの役割
- ・在外ベナン人の活躍



国家危機の克服

和解成功の要因

和解と発展のための3つの原理

1. 過去(歴史)の事実の確認
2. 誤りを認める
3. 許し合い、一連の怒りのプロセスを逆転させる。



和解に不可欠な精神的因素

許し

同意

理解

寛容

一致

対話

自己中心性の克服

心に平和の砦を築く

奴隸貿易問題の歴史的和解

1. UNESCO「奴隸の道」プロジェクト

- ・人間の尊厳性に対する罪
- ・アフリカ人も奴隸売買に関与
- ・単なる人種問題ではない
- ・アフリカ全土の混乱
- ・アフリカ発展の大幅な遅れ

2. 自分の先祖の問題を認識

- 奴隸貿易売買関係者の子孫
- ・心の葛藤の克服
- ・自分の先祖の問題を認める
- ・先祖の罪を自分のものとして解決する

3. 先祖に対する愛情

先祖の間違いを謝罪、許しを請う

真理的要素

- キリスト教精神
- ・信仰を基盤とした団体、伝統、実践
- 博愛
- 許しと寛容

歴史的問題解決

課題

宗教、性別、人種、信条を超えて全人類に適用するために
普遍的客観的真理が必要(UNESCO憲章)